

枇杷の花芽分化に関する研究

村松 久雄・池田 丈助・一瀬 至

(長崎県総合農林センター)

枇杷の生産的花芽分化期を明らかにし栽培管理を合理化する目的で、1953年度は直接法により、1956年～1959年度に亘つては間接法により花芽分化期を調査した。1960年～1961年には生理的花芽分化期の土壤条件が花芽分化に及ぼす影響を検知したのでその結果を報告する。

材料及び方法

茂木種を使い花芽分化時期を調査した。1953年には茂木町の成木園より前年度の発育枝の頂芽及び結果枝の頂芽25個づつを7月10日より9月10日まで10日毎に採取し直ちに試験場に送付し鱗片剥皮法で調査した。

又同時に場内の5年生若木を供試し第2表の如く夫々の時期に前年生春枝の新梢を摘葉し、その基部に環状剥皮を行い、着蕾調査をした。

1956年～1959年は5月から9月までの間夫々第1図のように一定期間遮光し間接的な花芽分化期を調べた。遮光は1959年には荷置用菰を、1956～1958年は木枠を利用し片遮光にした。10中下旬には着蕾率を調査し、生理的花芽分化期を探知した。尚1959年には圃場の5年生若木を供試し直接法による花芽分化期も調査した。1960年～1961年には花芽分化期と思われる5月～8月までの間、土壤条件を敷ワラ灌水区とビニールマルチ乾燥区分け、敷ワラ灌水区は期間中約10cmの厚さに敷草し、更に梅雨明け後10日毎に1a当り40トン灌水し、乾燥区は5月16日ビニールで被覆し10月中下旬着蕾率時期を調査した。

試験結果及び考察

第1表で示す様に1952年形態的花芽分化は7月20日頃から始まっているが、中心枝の方が側枝より分化期がやや早い。第2表で示す如く摘葉した場合の花芽分化への影響を調べた結果は、前年生春枝の中心枝は6月1日に既に生理的に分化していることを示し、果実が未だ樹に着生している時期に生理的に花芽分化し得る状態にある事を示している。又前年生春枝の側枝は6月15日に処理したものも着房しており、中心枝より若干遅れるのが収穫後間もなく生理的に分化するものと考えられるのが何れも直接法による分化時期よりもかなり早くから影響しているであろうと考えられる。

第1表 花芽分化時期調査

年度	調査月日	芽数	分化程度			
			1	2	3	4
1952	発育枝	7月25日	25	3		1
		8月27日	15	1		14
	結果枝	7月15日	24	1		0
		8月27日	24	16		
1959	発育枝	7月1日	40	0	0	0
		7月20日	40	1	1	0
		8月1日	40	5	13	2
			40			2
備考		分化程度	1 初期徴候	2 分化初期		
			3 小花分離	4 側芽分化		

第2表 摘葉時期と着房 (1953. 10. 17)

	調査	枝数	6月	6月	7月	7月	8月
			1日	15日	1日	15日	1日
中心枝	着房率	枝数	24	30	14	13	13
		率	16.6	33.3	28.6	30.7	44
副枝	着房率	枝数	10	12	7	—	—
		率	0	3	2	—	—
			0	25.0	28.6	—	—

1956年～1959年の4カ年間を通じ遮光による影響を見ると第1図で示す如く、6月中旬より7月中旬に亘る期間の遮光が最も着蕾率を低下してこの時期が生理的花芽分化の最も盛んな時期と思われる。

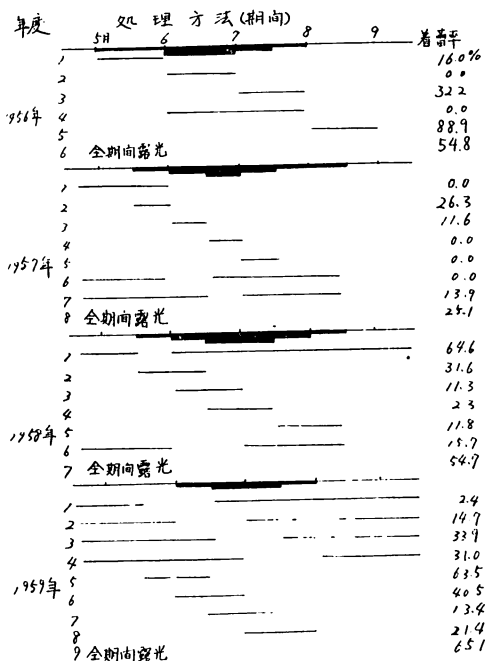
又6月上旬より8月下旬に亘つての遮光も或る程度影響が認められるが、その程度は6月中旬～7月中旬に亘る期間の処理に比較して影響は少い様に思われる。

又これらの生理的花芽分化前後に於る条件と花芽形成との関係は明らかでない。

第3表で示す様に土壤条件が花芽分化に及ぼす影響をみると中心枝の着蕾率では乾燥区、灌水区の差は明らかでないが副梢では生理的花芽分化期の灌水敷ワラによつてやや花芽が減少する傾向がみられた。出蕾開花時期は第4表の如く各調査時共に乾燥区は灌水区に比べて出蕾が早く行なわれている。尚5月から10月に亘つて枝梢のCNを分析調査したが第2図で示す様に一定の傾向は認められなかつた。

第3表 土壤管理及着蕾率及び土壤水分の変化

区別	着蕾率		土壤水分	
	中心枝	副枝	10cm	30cm
乾燥区	97.4	83.0	17.7	23.7
灌水区	93.4	69.8	29.7	33.2



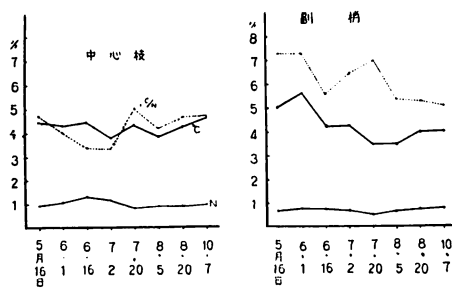
(註) ——— 影響が弱く思われる範囲
 ■■■■■ 影響が強く思われる範囲
 ■■■■■ 影響が最も大きく作用している

才1図 遮光時期と着蕾率

第4表 土壌管理と出蕾時期調査

区 別	出蕾程度				
	1	2	3	4	5
10月24日 灌水區	3.09	89.4	4.3	0	0
10月24日 乾燥區	0	15.0	51.7	33.3	0
11月7日 灌水區	8.9	68.9	20.6	1.5	0
11月7日 乾燥區	0	10.7	32.5	45.6	2.3
11月16日 灌水區	0	19.4	69.8	11.0	
11月16日 乾燥區	0	1.0	25.9	58.6	14.8

備考 出蕾程度 1. 小果梗分離していないもの
 2. 小果梗下部1~2分離したもの
 3. 小果梗半分分離したもの
 5. 開花開始したものの



才2図 枇杷枝梢のC/Nの変化